

デイビッド ブライアント(David Bryant) プロフィール

ニューヨークのブルックリン市生まれ。デイビッド ブライアント(David Bryant) は今世界のJazzシーンで注目を集めているピアニスト/作曲家/マルチインストゥルメンタリストです。

アルバム "Dirt... And More Dirt" by ヘンリー スレッドギル (Henry Threadgill)、"Serenade for Horace" (Blue Note Records) と "Return of the Jazz Communicators" by ルイス ヘイズ (Louis Hayes)、"Synovial Joints" by スティーブ コールマン(Steve Coleman)、"Dezron Douglas - Live at Smalls" by デズロン ダグラスや、"Of Song" by マーカス ストリックランド(Marcus Strickland) などからは、ブライアントの幅広く、繊細で、オリジナリティに溢れた演奏が聴き取れます。

この他にも、アルバム "Outlook" by スティーブ デイビス (Steve Davis)、"Momentum" by マイロン ウォルデン(Myron Walden)、"Future" by エイブラハム バートン(Abraham Burton)、"Water and Earth" by ジェレミー ペルト(Jeremy Pelt)や、映画 "Leatherheads" のサウンドトラックなどでは、サイドマンとしてフェューチャーされています。

共演したアーティストは、クリスチャン マクブライド(Christian McBride)、ラビ コルトレーン(Ravi Coltrane)、ロイ ヘインズ(Roy Haynes)、デーブ ホーランド(Dave Holland)、デルフィヨ マルサリス(Delfeayo Marsalis)、ルイス ヘイズ(Louis Hayes)、ヘンリー スレックギル(Henry Threadgill)、スティーブ コールマン(Steve Coleman)、ケニー ウィーラー(Kenny Wheeler)、ボブ ブルックマイヤー(Bob Brookmeyer)、ジミー ヒース(Jimmy Heath) など。東京のCotton Club、North Sea Jazz Festival、Pori Jazz Festival、Stockholm Jazz Festival、Canary Islands Music Festival、Jazz on the River in St. Petersburg、Guimarães Jazz Festival in Portugal、Monterey Jazz Festival、Carnegie Hall など、世界中のフェスティバルやJazz Clubで演奏経験があります。

2018年には、自身のデビューアルバムもリリース予定。